

# IoT機器調査及び利用者への注意喚起の実施状況（2022年4月度）

- 参加手続きが完了しているISP（インターネット・サービス・プロバイダ）は**70社**。  
当該ISPの約**1.12億IPアドレス**に対して調査を実施。
- **NOTICE**による注意喚起は、**1,585件**の対象を検知しISPへ通知。
- **NICTER**による注意喚起は、1日平均**376件**の対象を検知しISPへ通知。

## NOTICE注意喚起の取組結果

注意喚起対象としてISPへ通知したもの\*

**1,585件**（3月度:1,664件）

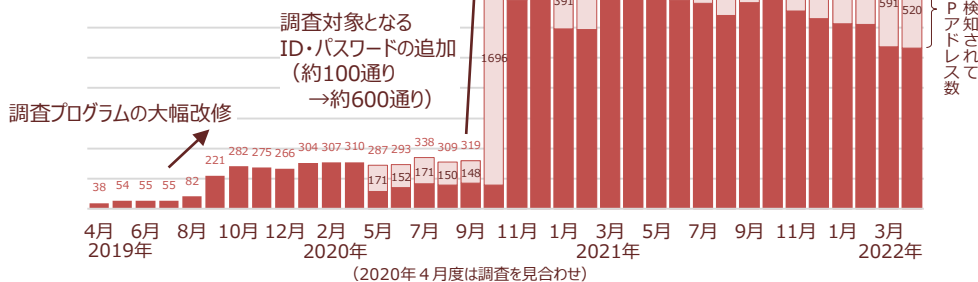
（参考）2019年度からの累積件数：37,662件

ID・パスワードが入力可能だったもの：9.9万件

\*) 特定のID・パスワードによりログインできるかという調査をおおむね月に1回実施し、ログインでき、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）

**増加要因**：調査プログラムの改修や  
調査対象アドレスの拡大等

**減少要因**：ISPによる注意喚起により  
利用者が対策実施



## NICTER注意喚起※の取組結果

※マルウェアに感染しているIoT機器の利用者への注意喚起

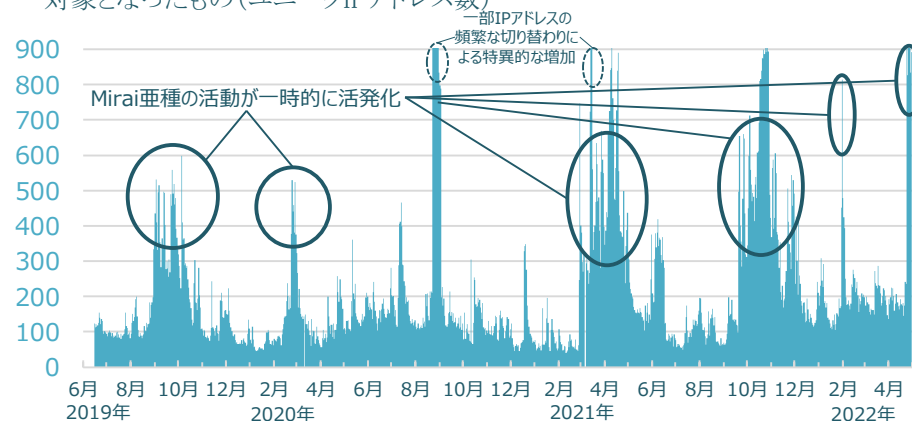
注意喚起対象としてISPへ通知したもの\*\*

**1日平均376件**（3月度:193件）

（参考）期間全体での値：1日平均224件

最小：40件(2021/2/10)／最大：3,227件(2020/8/24)

\*\*）NICTERプロジェクトによりマルウェアに感染していることが検知され、注意喚起対象となったもの（ユニークIPアドレス数）



✓ NICTER注意喚起における2022年4月下旬の増加は、Mirai亜種の活動活発化を受け、国内の脆弱な機器(主にDVR/NVR)が感染したことによるものと考えています。